

—— 株式会社 細田工務店 本社 ——
〒166-8577 東京都杉並区阿佐谷南3-35-21
Tel.03-3220-1111 (代表)
営業時間：午前9時～午後6時

—— 株式会社 細田工務店 東北支店 ——
〒989-3216 宮城県仙台市青葉区高野原1-18-16
Tel.022-394-1232
営業時間：午前9時～午後6時 定休日：毎週日曜日・祝日

—— 株式会社 細田ライフクリエイション ——
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南3-35-21
Tel.03-5397-7788
営業時間：午前9時～午後6時

—— 株式会社 細田カスタマーサポート ——
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南3-35-21
Tel.03-5397-2515
営業時間：午前9時～午後6時

横浜営業所
〒245-0016 神奈川県横浜市泉区和泉町7407-2
Tel.045-301-0716
営業時間：午前9時～午後6時 定休日：毎週水・日曜日

暮らしをやさしくつむ家
 細田工務店



「思い」を「カタチ」に。

創業以来、培ってきた品質に今なお改良に挑み続け、
より力強く、より快適な住み心地を紡いでいく住まいへ。
一邸一邸の住まいづくりに心を込めて、常に厳しく丁寧に。
細田工務店は「厚品質」を積み重ねながら、
100年ブランドへと歩みを続けます。



「安心」を「カタチ」に

1. 耐震・耐風性 4-7
「ハイブリッドキューブ工法」
 - ・6面体構造
 - ・5倍の壁倍率
 - ・耐震等級3
 - ・エンジニアードウッド
「高耐震ベタ基礎」
 - ・地盤調査(地盤改良・地盤補強)
 - ・構造計算
 - ・ベタ基礎
 - ・コンクリート強度の確認
 - ・鉄筋補強
「鉄筋補強・補強金物」
 - ・耐震等級3
 - ・耐風等級2
2. 耐火性 8
「省令準耐火構造」
 - ・木の住まい
 - ・ファイヤーストップ構造

「心地よさ」を「カタチ」に

1. 断熱・省エネ性 10
「断熱等性能等級5」
 - ・ハイブリッドサッシ & Low-E 複層ガラス
 - ・UA値0.6以下
「一次エネルギー消費量 等級6」
2. 空気環境 11
 - ・シックハウス対策でホルムアルデヒド発散等級3
 - ・24時間換気システム
3. 音環境 12
4. ユニバーサルデザイン 12

「信頼」を「カタチ」に

1. 第三者機関の認定 14
「長期優良住宅」
 - ・住宅性能評価書の取得
2. 検査体制 14
「直営責任施工体制」
 - ・Wチェック
3. 耐久・耐候・防水性 15
 - ・外壁通気工法で劣化対策等級3
 - ・小屋裏換気
 - ・ルーフィング重ねしろ
 - ・水切り板金
4. メンテナンス性 16
「維持管理対策等級3」
 - ・ヘッダー配管方式
 - ・二重配管
 - ・床下人通路/床下・小屋裏点検口
 - ・サイディング外壁
5. アフター対応 17
「35年保証システム」
 - ・24時間365日電話対応
 - ・アフターメンテナンス
 - ・プラチナサポート



「安心」を

「カタチ」に。

地震や台風などの天災にも、
火事といった人災にも、
頼もしく立ち向かう技術力が、
確かな「安心」をつくりだす。

実物大振動実験の様子

1. 耐震・耐風性

『ハイブリッドキューブ工法』が、しなやかに強く人命と財産を守る

地震大国といわれる日本において、地震対策は欠かすことのできない課題です。より快適に、より末永く住み続けられる木の住まいを実現するために、細田工務店は高耐震構造に制振性能を融合し、地震に強さとしなやかさで抵抗する独自の最新技術、「ハイブリッドキューブ工法」を誕生させました。

6面体構造 × 制振ダンパー =



設計の自由度に高耐力性を両立させた6面体構造

細田工務店が創業時よりこだわり続ける、木造軸組工法の最大の特徴は可変性の高さにあります。この良さを損なうことなく強度を高める方法として、横揺れに強いという2×4工法の特徴を取り入れ、「6面体構造」を開発しました。筋かいと火打ち梁だけでなく、床と壁に構造用面材を貼り込む、すべてが強い面で囲まれた構造は地震や台風などの水平力に強く、頼もしい高耐震性を発揮します。

従来の軸組工法	高耐震6面体構造
床の剛性が低いと変形しやすい。	構造用合板を敷き込み、剛性を高めます。
<p>■壁(耐力壁・準耐力壁)</p> <p>外壁には約9mm厚の構造用面材の耐力壁、内側には約12.5mm厚の石膏ボードの準耐力壁を貼り、壁の強度をアップしています。</p>	<p>■2階床組み</p> <p>2階床組みは、火打金物に加えて約24mm厚の構造用合板を用いた根太レス工法が建物に加わる地震力や風圧力を確実に耐力壁に伝達します。 ※床暖房施工部分は構造用合板の厚みが変わります。</p>

家屋の損傷を最小限に抑える5倍の壁倍率

壁倍率とは建築基準法に定められている耐力壁の強さを表す数値で、最大値は5倍。「ハイブリッドキューブ工法」では、国土交通大臣認定で最大値となる壁倍率5倍を取得した、鋼製ダンパー制振壁「延樹・ブランチ」を標準装備しています。内蔵された鋼製ダンパーが地震エネルギーを变形吸収することで、建物の揺れを吸収し、住まいの揺れそのものを大幅に軽減。たび重なる地震が発生しても建物の変形を低減するので、住まいの長寿命化に貢献するとともに、窓ガラスの破損や家具の転倒などによる二次被害も防ぐことができます。

<p>鋼製ダンパーが地震エネルギーを变形吸収</p>	<p>壁倍率5倍の耐力壁</p> <p>壁倍率5倍は一般的な片筋かい耐力壁の2.5倍、構造用合板耐力壁の2倍の強さ</p>
----------------------------	---

延樹・ブランチ

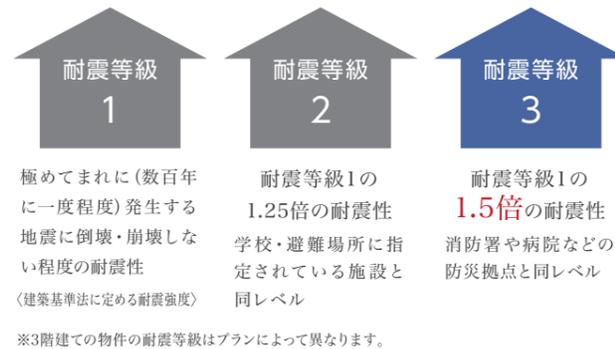
実際の施工写真

繰り返す地震に力強く耐える

最高等級3の実力

住宅性能表示の耐震等級では、倒壊等防止・損壊等防止という2つの目標が達成できるような構造躯体の強さが確保されているかどうか評価されます。耐震等級3はこの最高等級で、数百年に一度発生する震度6強から7に相当する地震力に倒壊・崩壊しないというもの。災害時に重要な役割を果たす特定の消防署や病院が耐震等級3の強度に定められ、細田工務店の住まいは、大切な財産を守り、命を守る、高い耐震性能を備えています。

■細田工務店の住まいは全邸※「耐震等級3」



「ハイブリッドキューブ工法」が建物の変形を低減します。

制振性能がない建物と、制振性能を備えた「ハイブリッドキューブ工法」の建物を比較すると、同じ壁量であっても建物の変形を低減することができます。



施工精度の高い構造用集成材

エンジニアードウッド

柱や梁は、住宅の構造材として最も強度と耐久性が求められる重要な部材です。ハイブリッドキューブ工法の強度をより確かなものとし、どの一棟も変わらない精度で施工するために、細田工務店では収縮や変形、反りなど起こす可能性のある無垢材でなく、高く均一した強度を保持できる構造用集成材「エンジニアードウッド」を採用しています。重要な部材となる構造材すべてを当社が指定したもののみに限定し、当社が求める品質管理を実現する国内工場加工が施された、JAS製品のみを使用しています。



留めつけ用の「釘」は長さで色分け

面材や材の厚さによって3種類の釘を使い分けるため、釘の頭を色分けすることでミスを予防。同時に現場チェックの検査員が、施工された釘の長さを頭の色で判断できるようになっています。

Document

建物強度向上への取り組みはたゆまなく

細田工務店が大学などの研究機関とともに、実物大振動台実験を共同実施したのは2004年。この他にも様々な実験に参加し、一連の指揮を取られた東京都市大学・大橋名誉教授のもと、現在にいたるまで定期的に勉強会を開催。実験データの分析等を通して、耐震性をさらに高める可能性に取り組んでいます。



『高耐震ベタ基礎』が、面で足元から力強く住まいを支える

強い家づくりの始まりは緻密な地盤調査から

地盤の強さを知ることが、最適な基礎を設計する第一歩になります。細田工務店では、住宅用調査として実績のある「スクリーウエイト貫入試験」を採用し、徹底的に調査。加えて、周辺地盤の履歴調査や周辺道路の確認などの調査も行います。地盤調査の測定結果から算出した、地盤の強さを示す「地盤許容応力度」を基に、地盤改良の必要性を判断。その結果を基に最も適した地盤改良法を選んで補強を行い、安全性の高い地盤強度を実現します。

■地盤補強工法

柱状改良: 表層8m程度までが軟弱な地盤の場合に採用

小口径鋼管杭: 支持地盤が深い地盤の場合に採用

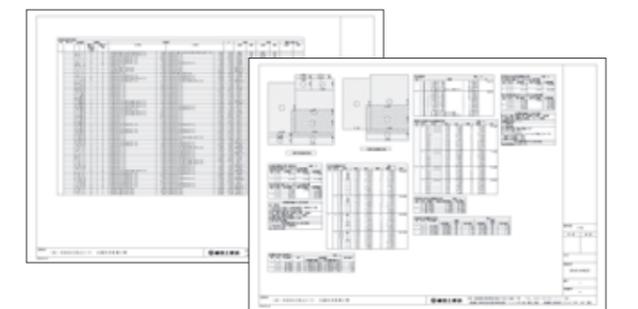
(イメージイラスト)

地盤品質証明書

地盤調査を基にした基礎仕様または補強工事を施した建築物であることが証明され、地盤品質証明規約の適用で20年間の証明期間が設計されています。調査会社から当社宛てに渡される保証書ですが、ご希望があればお客様にお渡します。

全棟に最新のCADシステムで構造計算を実施

ハイブリッドキューブ工法による強固な住まいを地面から支える基礎は、一邸一邸、最新のCADシステムを用いて設計担当者が詳細に構造計算を行います。計算された図面に基づいて鉄筋の太さや配筋の間隔を決定し、図面通りの施工が行われているかを確認しながら丁寧な作業が進められます。また、構造上重要な箇所となる梁の太さや耐力壁の配置なども、構造計算によって正確に導き出されます。



建物の重さを均等に地盤へと伝えるベタ基礎

全棟に、床面全面に耐圧盤(コンクリートスラブ)を施行する「ベタ基礎」を採用しています。基礎の堅牢さは、高品質のコンクリートと鉄筋、アンカーボルトなどで形成され、コンクリートスラブ厚約180mm、基礎立上り幅は約150mm、鉄筋間隔は約200mm~300mmという、ハイスペックな仕様が標準。建物を面で支えることにより、不同沈下を防止するとともに、床下環境の改善によってシロアリの予防にも効果を発揮します。

■耐圧盤(コンクリートスラブ)

幅

奥行

立上り幅 約150mm

スラブ厚 約180mm

地盤

大きな曲げ力がかかる耐圧盤は、各所に鉄筋を補強して強度を確保。

(イメージイラスト)

厳しい独自基準で均一性を保つコンクリート強度確認

基礎に使用するコンクリートは、自社規定の配合を正確に維持するために、厳選したJIS認定プラントから現場に搬入。搬入時には第三者機関によるコンクリート受け入れ検査を抜き打ちで行い、所定の項目に合格していることを確認しています。さらにコンクリート打設後にも、圧縮強度確認を実施します。また、コンクリート強度の均一化を図るために、季節によりコンクリートの配合を細かく管理しています。



鉄筋コンクリート造の建築物と同様に管理

[設計標準強度: 21N/mm²]
この強度を保つために、細田工務店は発注強度を24N/mm²に規定(冬季は27N/mm²以上)。

適切な「鉄筋補強」と「補強金物」が、住まいの抵抗力をさらに高める

適切な補強で基礎強度を保全する鉄筋補強

建物の出隅(2つの壁が出合う外側の角)や幅の広い開口部の直下などは、耐圧盤を通じて大きな接地圧がかかってしまいます。これらの箇所には適切に鉄筋を補強して強度を確保しています。人通口(点検時などで人が通るための口)などで基礎立上りが連続しない部分や、配管などで鉄筋が切断されてしまう場合にも、強度が低下しないよう鉄筋を追加して補強します。



耐圧盤(コンクリートスラブ)配筋施工例



配筋状況をしっかり確認

基礎鉄筋の配筋状況や補強状況は、コンクリート打設前に社員および第三者機関の検査員による確認を実施。

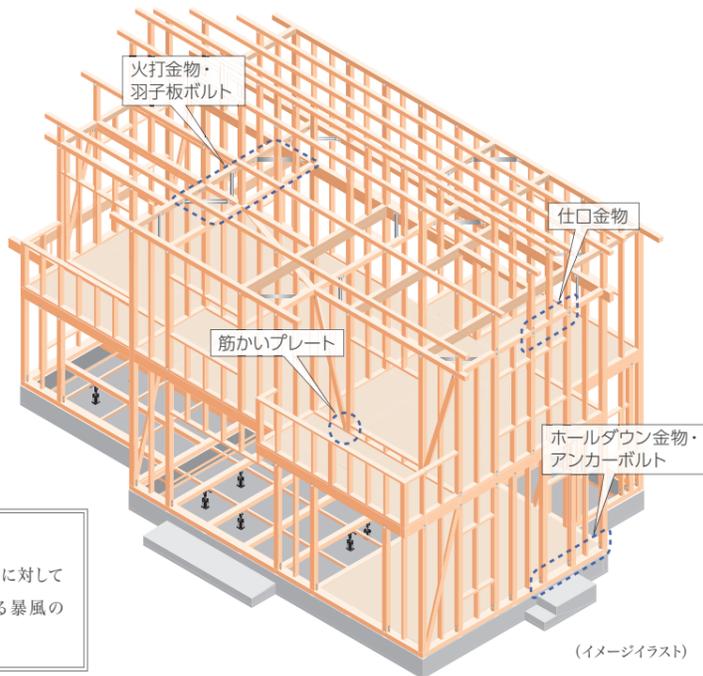
構造部材を強固に緊結する適材適所の補強金物で耐震等級3・耐風等級2を取得

構造材の結合部分をより強固に支えるのが、箇所ごとで異なる補強金物です。火打金物、筋かいプレート、ホールダウン金物・アンカーボルト、鋼製束をはじめ、種類も用途も多岐にわたります。そのすべてに、日本住宅・木材技術センターが定める接合金物規格の「Zマーク」、Zマークと同等以上の品質・性能と認定された「Dマーク」、公的評価機関により品質・性能が確認された「Sマーク」が表示された金物を採用。施工精度の確かな構造材を、これらの優れた補強金物を使って緊結することで、最高等級の耐震等級3および耐風等級2の性能を確実に発揮させます。

火打金物と羽子板ボルト



筋かいプレート



仕口金物



ホールダウン金物・アンカーボルト



耐風等級2とは
500年に一度発生する暴風の1.2倍の力に対して倒壊・崩壊せず、50年に一度発生する暴風の1.2倍の力に対して損傷しない程度

(イメージイラスト)

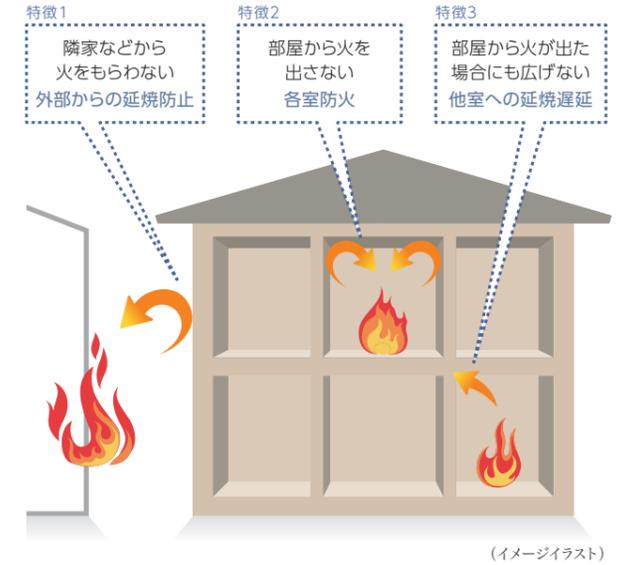
2. 耐火性

『省令準耐火構造』対応で、鉄よりも火に強い木の住まいをさらに強く

火が出にくい火を寄せ付けない

省令準耐火構造対応

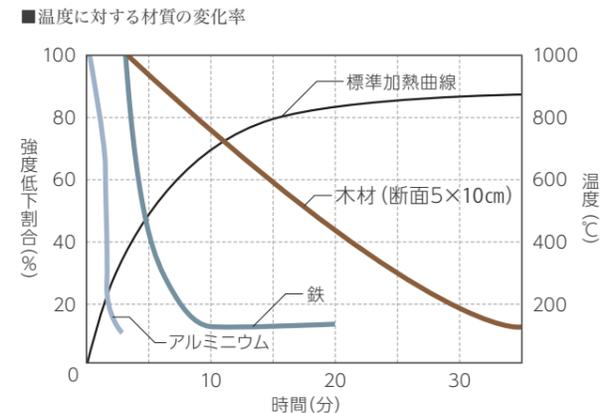
「省令準耐火構造」対応とは、建築基準法で定める準耐火構造に準じる防火性能を備えていることが認められた住まいをいいます。3つの大きな特徴があり、まず「外部からの延焼防止」。お隣りからのもらい火を防ぐために、屋根や外壁、軒裏の構造を防火性の高い構造とします。次に、家の中で火災が発生しても、一定時間その部屋から火を出させない「各室防火」。そして、家の中で延焼をできるだけ遅らせる「他室への延焼遅延」。「省令準耐火構造」の住まいは、万一の際に最も大切な初期消火や安全な避難を可能にするとともに、火災保険料が割引されるという、うれしいメリットもあります。



(イメージイラスト)

万一の火災時にも避難時間を確保できる木の住まい

火災が発生した場合、鉄は550℃を超えると急速に軟化し、10分を経過したあたりでは、約20%以下まで強度が低下してしまいます。そのため、鉄骨系の住宅の場合、骨組みが大きく変形し、火災発生から早い時期に住宅全体が崩れ落ちることもあります。一方、太さや厚みのある木材は、いったん火が移ったとしても、表面に炭化層をつくるので火が内部にまで届きにくく、火災の進行を遅らせる特性があります。同じ10分を経過した段階で約80%も強度が保たれ、1,000℃前後まで達するといわれる火災では、木の住まいは安全に避難する時間を稼ぐことができます。

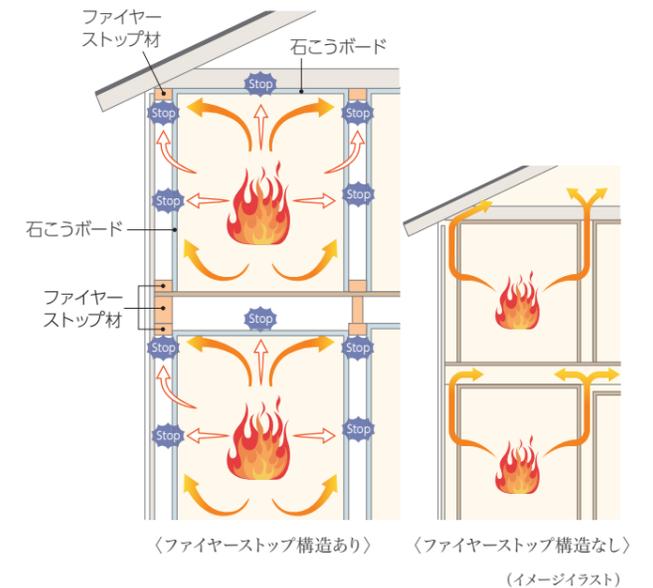


※出典：日本住宅・木材技術センター「木と日本の住まい」(1984)

火を他の部屋に広げない

ファイヤーストップ構造

空気の流れに沿って上へと燃え広がる性質を持つ火は、火災が起きると壁の中や天井裏を通して家全体へと燃え広がります。火の進行を遅らせて延焼を防ぎ、万一の際は安全に避難する時間を確保できるのが「ファイヤーストップ構造」です。壁の中や天井裏など所要所に防火素材の石こうボードを施して区画をつくり、1カ所で発生した火の流れを効果的に遮断し、延焼を抑えます。



(イメージイラスト)



「心地よさ」を

「カタチ」に。

恵み多く美しい日本の自然は、
寒暖差という厳しさも連れてくる。
寒暑に負けない設計施工で心地よく。
四季の快適が住まいの中にある。

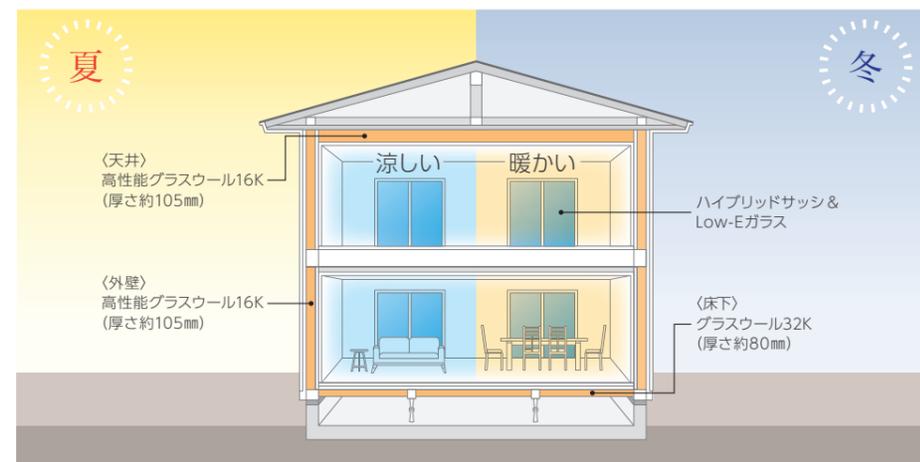
1. 断熱・省エネ性

「断熱等性能等級5」の住まいは、室内の温度差が少なく四季を快適に

夏涼しく冬暖かい高断熱仕様 断熱等性能等級5

木はもともと、コンクリートの約10倍、鉄の約500倍も断熱性に優れています。夏は外気の熱が室内に伝わりにくく、冬は室内の熱を外に逃しにくいのが木の家です。細田工務店では、天井・壁・床を高性能グラスウールでしっかりと包み込むように満たして、屋根や外壁、床下からの熱をシャットアウト。さらに、開口部にはハイブリッドサッシ&Low-E複層ガラスを採用。夏の遮熱効果にも優れ、一年を通して快適で過ごしやすい住まいをご提供しています。

※1階の洗面室・浴室は、床断熱ではなく、基礎の立ち上げりにポリスチレンフォームを施工し、断熱性を確保しています。



断熱等性能等級とは
屋根や外壁、窓・ドアなどの開口部、床・基礎といった、屋外の熱気や冷気に直接さらされる住まいの外側部分を外皮といいます。断熱等性能等級は、これら外皮の省エネルギー性能が評価されます。細田工務店の住まいは「断熱等性能等級5」。UA値0.60以下を実現した住宅が取得できる等級です。

(イメージイラスト)

全開口部にハイブリッドサッシ&Low-E複層ガラス

開口部は、屋外からの熱の影響を最も受ける場所です。全室開口部の窓フレームには「ハイブリッドサッシ」、窓ガラスには「Low-E複層ガラス」を採用し、住まい全体の断熱性を高めています。

ハイブリッドサッシ

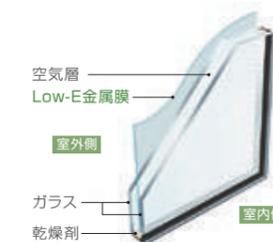
アルミの良さと樹脂の良さを融合した、ハイブリッド構造のサッシです。室外側は耐久性と強度に優れたアルミ製で、雨や風、陽射しによる劣化を防止。室内側は断熱性に優れた樹脂製になっており、熱の出入りを抑えます。



(イメージイラスト)

Low-E複層ガラス

室内側のガラスに無色透明の特殊金属膜をコーティングすることで、優れた断熱性能と日射熱取得率の両立を実現。透明度が高く、採光性にも優れています。



(イメージイラスト)

断熱性能の高さが数値で分かるUA値0.6以下

UA値は外皮平均貫流率の略称で、住まい全体から屋外に逃げる熱量の合計を、外皮(住まいの外側部分)の総面積で割った数値で表されます。この数値を見ると、どれだけ断熱できているのかが分かり、住まいの省エネ性能を図る基準になっています。数値が小さいほど断熱性能が高く、東京の場合、次世代住宅基準での設定はUA値0.87に対し、細田工務店の分譲住宅はUA値0.6以下が標準仕様。宮城県や福島県、新潟県といった地域においてもUA値は0.75ですから、断熱性能・省エネ性能の高さが数値でも実証されています。

■UA値の算出方法

$$UA値 = \frac{\text{住まい全体から逃げる熱量}}{\text{外側部分面積}}$$

UA値が低いと熱が逃げにくくなります

高 → UA値 → 低

国の定める各地域の省エネ基準値

東京 UA値0.87

細田工務店 UA値0.6以下

「一次エネルギー消費量等級6」の実力が、冷暖房のコストを大幅に抑える

冷暖房効果を高める 一次エネルギー消費量等級6

私たちがお届けしているのは、室内の温度が外気の影響を受けにくく、屋内の熱を外に逃しにくい、断熱性能の高い住まいです。断熱性能が高いということは冷暖房効率がよく、少ないエネルギーで一年を快適に過ごせるということ。電気使用量も軽減でき経済的で、二酸化炭素の排出量も減らせる、家計にも地球環境にも優しい住まいを実現しています。細田工務店では、断熱等の性能と、一次エネルギー消費量ともに一邸ごとに算定し、省エネルギー性能を確認しています。



一次エネルギー消費量等級とは
住宅で使う設備のエネルギー消費量を評価する、建物全体の省エネ性能の指標となる等級項目です。一次エネルギーとは原油・天然ガス・太陽光など、自然から得られるエネルギーのことで、一次エネルギーの消費量が少ないほど、省エネ性能の高い住まいといえます。たとえば、冷暖房設備の一次エネルギー消費量を削減するには、外皮の断熱性能が極めて大きな影響を及ぼします。さらに、あらかじめ一次エネルギー消費量の少ない設備機器を採用することも必要となります。細田工務店の住まいは「一次エネルギー消費量等級6」。平成28年省エネルギー基準の一次エネルギー消費量設定値よりも、20%以上削減した省エネ性を実現しています。

2. 空気環境

健康的で清潔な住空間は、すみずみまでもが清々しい

最高水準F☆☆☆☆で応える

シックハウス対策でホルムアルデヒド発散等級3

シックハウス症候群の代表的な原因とされるホルムアルデヒドに対して、建築基準法への対応はもちろん、積極的な対策を取っています。内装用建材にホルムアルデヒド放散量の極めて少ない、最高水準F☆☆☆☆製品のみを採用し、ホルムアルデヒド発散等級として最高等級の3を取得。下地材や接着剤などすべての部材において、安心して暮らしたいただける配慮が生かされています。

■建材などの対応例

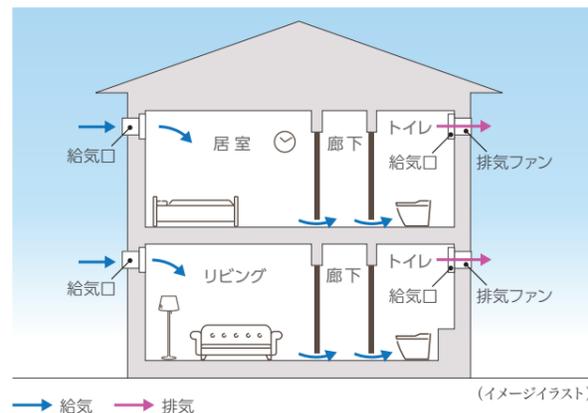
部位	材料名称	対策	備考
居室・換気経路となる部分	床	フローリング サニタリーフロア	F☆☆☆☆ F☆☆☆☆
	壁・天井	下地石膏ボード クロス	規制対象外 F☆☆☆☆
	建具		F☆☆☆☆
	厨房セット		F☆☆☆☆
	洗面化粧台 下駄箱		F☆☆☆☆ F☆☆☆☆
天井裏など	床下地	構造用合板	F☆☆☆☆
	外壁下地	構造用パネル	F☆☆☆☆
	屋根下地	構造用合板	F☆☆☆☆
	断熱材	住宅用グラスウール	F☆☆☆☆
その他	接着剤	造作用接着剤 壁紙用接着剤	F☆☆☆☆ F☆☆☆☆
	ワックス		規制対象外
	防蟻処理剤		ホルムアルデヒド不使用 クロロピリホス不使用

※JIS、JASまたは国土交通大臣認定による等級の中で最もホルムアルデヒドの発散量が少ない建築材料です。

きれいな空気と暮らす

24時間換気システム

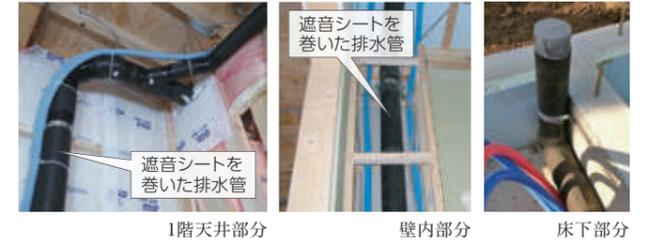
気密性・断熱性の高い住まいだからこそ、十分な換気が必要になります。細田工務店の住まいでは、各居室の給気口から新鮮な空気を取り入れ、電動の排気ファンで強制的に排気する「24時間換気システム」を導入。窓を閉じたままでも2時間に1回、住まいの中の空気が入れ替わり、室内の空気環境を健康的に保てるだけでなく、結露やカビの発生予防にも役立ちます。



3. 音環境

室内への排水音の音漏れをできるだけ抑えて静かに

深夜など気になる排水音の音漏れを遮断するために、天井裏や壁体内部を通る排水管には遮音シートを巻いて対策を施しています。



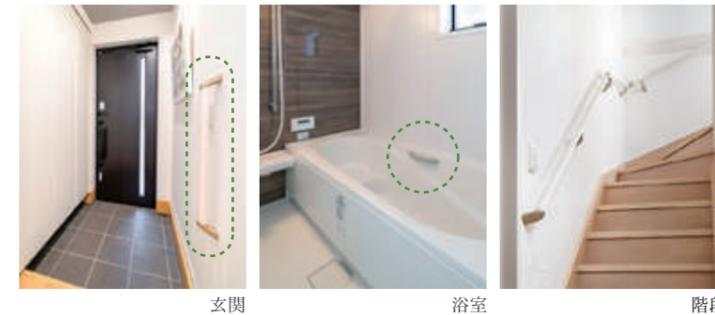
4. ユニバーサルデザイン

家族誰もが暮らし良い、世代を超えたやさしさをきめ細かく

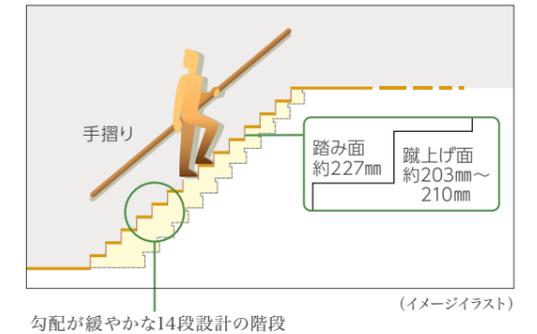
住まいの随所に安全・安心の工夫

居室と廊下の床は、敷居などの段差をなくしたフラットフロアを採用。玄関や浴室、階段には手摺りを設けました。階段はさらに勾配を緩やかにして、上り下りの負担を軽減。また、照明用スイッチの位置は小さいお子様でも手が届くよう、標準仕様として床から約1,050mmの位置に設置。住まいの隅々まで様々な世代を想定した空間設計を心掛けています。

手摺り



階段



スイッチ



フラットフロア





「信頼」を

「カタチ」に。

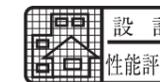
徹底した施工体制で品質を守り、お住まいになってからも末永く、住まいの安全・安心を見守り続ける。細田工務店はずっとお客さまとともに。

1. 第三者機関の認定

「長期優良住宅」への適合が、省エネ性の高い暮らしへと導く

客観的で公平な評価が分かる「住宅性能評価書」を取得

住宅性能評価とは、「住宅性能表示制度」に基づいて定められた住宅の性能について、国土交通大臣指定の第三者機関が客観的かつ公平に評価するというもの。「構造の安定」や「劣化の軽減」、「維持管理への配慮」、「火災時の安心」、「温熱環境」など全10分野32項目があり、その評価をまとめて交付されるのが「設計住宅性能評価書」です。各項目が等級や数値で表示されるので、異なる工法で建設された住宅であっても各性能の違いが分かりやすく、比較する際の目安にもなります。



数世代にわたって安心して暮らせる長期優良住宅

「長期優良住宅」は2009年に施行された住宅認定制度で、その名の通り、世代を超えて永く快適に住み継いでいける住まいをいいます。認定されるには複数の基準をクリアする必要があり、2022年10月より改定され、より厳しい認定基準となりました。細田工務店ではこの長期優良住宅に適合する性能で分譲住宅を提供しており、末永く住み継がれる住まいづくりに取り組む細田工務店のポリシーを、まさに具体化したものといえます。

劣化対策	長く住み継いでいける家 数世代にわたり住宅の構造躯体が使用できること。	居住環境	近隣景観に配慮した家 良好な景観の形成その他の地域における居住環境の維持及び向上に配慮されたものであること。
維持管理更新の容易性	メンテナンスがしやすい家 構造躯体に比べて耐用年数が短い設備配管について維持管理(点検・清掃・補修・更新)を容易に行うことができること。	住居面積	住みやすい広さが確保された家 良好な居住水準を確保するために必要な規模を有すること。
耐震性	地震に強い安心の家 極めて稀に発生する地震に対し、継続利用のための改修の容易化を図るため、損傷のレベルの低減を図ること。	維持保全計画	将来まで考えられている家 建築時から将来を見据えて、定期的な点検・補修等に関する計画が策定されていること。
省エネルギー性	環境に配慮したエコな家 必要な断熱性能等の省エネルギー性能が確保されていること。	※一般社団法人住宅性能評価・表示協会発行「長期優良住宅認定制度の概要について」より抜粋(2022年10月1日時点の内容)	

※面積等の要件により、一部長期優良認定が取得できていない物件もございますが、長期優良住宅の認定基準性能を満たした住宅となっております。詳しくは担当者にお尋ねください。

2. 検査体制

『直営責任施工体制』のもと、厳格なルールで住まいの価値向上に努める

全工程責任を持って直接管理・監督 — 直営責任施工体制

創業当時より細田工務店の基本となっているのが、一貫した「直営責任施工体制」です。市場分析・商品企画から、設計・施工・管理・アフターメンテナンスまで、住まいづくりのすべての工程において、専属のスタッフ・技術者による「グループ一貫体制」を確立。そして、細田工務店の工事監督者と当社基準を熟知した専属の施工会社で、厳格に施工を監理。建築現場の安全確認や施工方法の改善と情報を共有し、「直営責任施工体制」を守り続けています。

工事現場担当者と上級責任者がWチェック

細田工務店の住まいは、細部に至るまで綿密に規定した施工基準書に則って、確認を繰り返しながら丁寧につくりあげられます。基礎の段階から竣工検査までの法令で定められた重要な工程では、細田工務店の工事現場担当者と上級責任者がダブルで厳しくチェック。さらに最も重要なポイントは、設計工事監理者が加わりトリプルチェックを行い、安心の住まいをお届けしています。

●ダブルチェック検査内容

基礎検査	地盤検査	コンクリート受入検査	配筋検査	基礎レベル検査
上棟検査	柱・梁・構造金物検査	外壁合板施工検査	建て入れ検査	制振装置の締め付け確認
設備・電気検査	設備中間検査	電気中間検査	雨仕舞検査	防水紙施工検査
造作検査	下地検査	断熱材施工検査	石こうボード施工検査	造作材施工検査
竣工検査	外観仕上げ確認	内装仕上げ確認	安全性の確認	給排水設備の通水確認



●第三者機関(公的機関)による検査内容

瑕疵保証の審査機関による検査
瑕疵保証の対象となるのは構造部分と防水部分。
設計施工基準に適合しているかどうか検査されます。
[基礎検査]=配筋検査 [上棟検査]=柱・梁・構造金物検査

建築確認による検査

現場自治体または指定確認検査機関が、建築基準法に適合しているかどうかを確認します。
[上棟検査]=柱・梁・構造金物検査
[竣工検査]=外観仕上げ確認/内装仕上げ確認/安全性の確認/給排水設備の通水確認
※中間検査が不要とされている地域もあります。

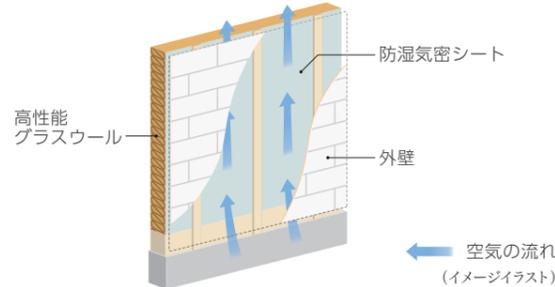
3. 耐久・耐候・防水性

ハイスペックな躯体はすみずみから支えられ、永く住み継がれる家へ

壁内の空気流通層で内部結露を防ぐ

外壁通気工法で劣化対策等級3

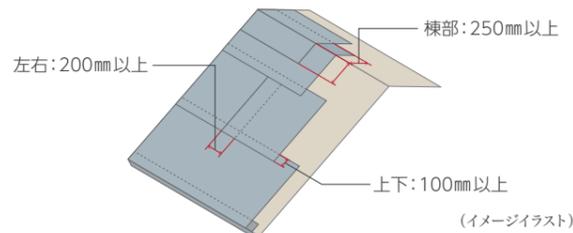
外壁と高性能グラスウールの間に空気の流れる空間をつくることで、壁体内の結露を防ぎ、住まいの耐久性を向上させる「外壁通気工法」を採用。さらに、暮らしを通して生じる水蒸気が壁の中に入らないよう、高性能グラスウールの室内側に防湿気密シートを貼り込んでいます。念には念を入れた施工により、劣化対策等級において最高等級の3を取得しています。



丁寧な施工で雨水の浸入を防ぐ

ルーフィング重ねしろ

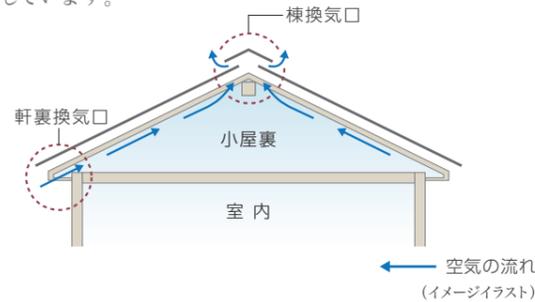
ルーフィングとは屋根材の下地として使う防水用シートのことで、室内への雨漏りを防ぐ重要な役割を果たします。ルーフィングを軒先と平行に敷き込む際、端となる箇所は、重ね合わせて敷き込むことで、屋根の防水精度を高めます。重なり合わせる長さが「ルーフィング重ねしろ」。上下は100mm以上、左右は200mm以上、屋根が稜線を描く棟部では250mm以上を確保し、雨水を寄せ付けない屋根を形成しています。



自然換気で湿気を屋外に排出する

小屋裏換気

熱や湿気がこもりやすい小屋裏は、結露を防ぐために適切な温度環境を維持することが大切です。細田工務店の住まいでは独立した小屋裏ごとに、空間上部の棟換気口と軒裏換気口を組み合わせた「小屋裏換気」を採用。軒裏から小屋裏上部へと自然な空気の流れをつくり、小屋裏内の換気を促しています。



建物と居住性を雨漏りから守る

水切り板金

直接雨が降り注ぐ屋根には、雨水をスムーズかつ速やかに排出するための「水切り板金」が用いられます。屋根と壁が接合している部分、2つの屋根面が交わっている部分、屋根の先端部分など、それぞれ目的に応じた適切な水切り板金を使用。躯体への雨漏りをしっかりと防いで、建物の耐久性を高めます。



あんな所やこんな所も耐久性をきめ細かく追求



バルコニーや玄関まわりの手摺りは、錆の心配がないアルミ製



外壁側のサッシまわりには、防水テープを四方くまなく施工の上、透湿防水シートを貼り、雨仕舞いを確保して防水性をアップ



外壁仕上げ材の下部には、耐久性・防水性に優れたガルバリウム鋼板を施工

劣化対策等級とは

建物の劣化対策がどの程度行われているか評価する等級項目です。3等級で表され、等級が高ければ高いほど建物は長持ちします。細田工務店の住まいは「劣化対策等級3」。これは、通常想定される条件のもと、3世代まで大規模な改修工事をせずに使えるように対策された建物になります。

4. メンテナンス性

『維持管理対策等級3』の施工が、将来のスムーズなメンテナンスへと導く

配管メンテナンスが容易な

ヘッダー配管方式

給湯給水システムには、2ヵ所で同時に使っても安定した水圧・水量を保てる「ヘッダー配管方式」を採用。ヘッダーから給水・給湯栓までの継ぎ目がないので、漏水しにくく、メンテナンスもスムーズに行えます。また、給水管には耐久性に優れた架橋ポリエチレン管を使用。錆びることのない樹脂素材のため、赤水の心配もありません。

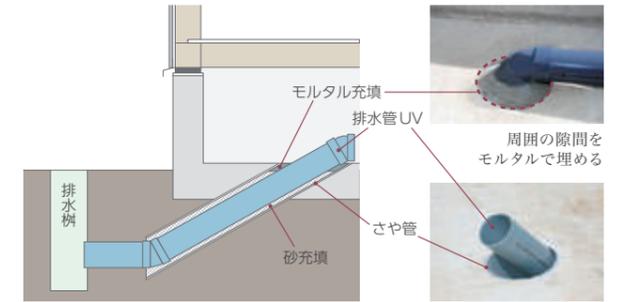


配管施工例 給湯・給水ヘッダー

基礎に影響を与えることなく交換できる

二重配管

排水管は基礎にあらかじめひと回り大きいパイプ(さや管)を埋め込み、そこに排水管を通す「二重配管」を採用。排水管を通した後に、周囲の隙間をモルタルで埋め込んで浸水や湿気対策を施しています。経年劣化などで将来排水管を交換する際、「二重配管」だと建物を支える大切な基礎に手を入れる必要がなく、容易に排水管交換を行うことができます。優れたメンテナンス性で、建物の耐震性・耐久性を維持することができます。



(イメージイラスト)

さや管の中に排水管を通す

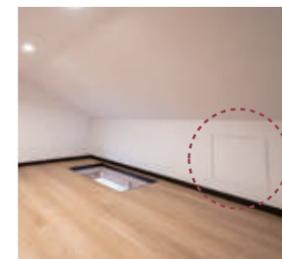
メンテナンスのしやすさに配慮した

床下人通口と床下・小屋裏点検口

将来の配管のメンテナンス等を想定して、床下を点検できるように床下点検口を設置。基礎内部には人通口を設けて、点検時に人が通れるようにしています。また、屋根裏の構造部材や断熱材などの点検が必要になった際に入出りできる小屋裏点検口も設けています。



床下点検口(床下収納庫)



小屋裏点検口

雨の力で美しさを持続する外壁材

セルフクリーニング機能付きサイディング

外観を味わい深く演出する「サイディング」は、ホコリや排気ガスなど付着した汚れを、雨水が繰り返し洗い落とすセルフクリーニング機能付き。雨が降るたびにきれいになり、外壁はいつもすっきり。晴天続きの日など、汚れが気になる時は、こすらずに散水するだけ。お手入れの手間が省けます。



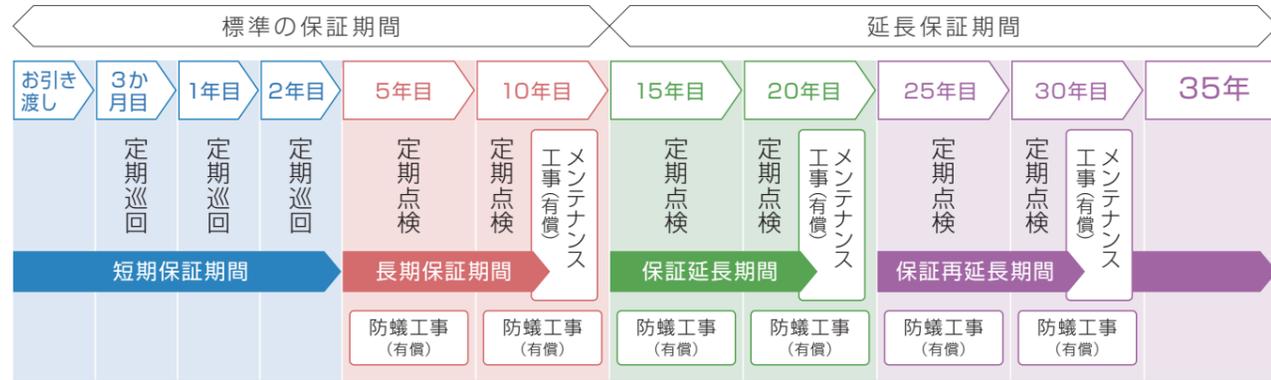
維持管理対策等級とは

配管の清掃や補修のしやすさ、更新対策(維持管理・更新への配慮)を3段階で評価する等級項目です。具体的には、給排水管やガス管の日常の維持管理をしやすくするための対策、排水管の更新工事を軽減するための対策を評価したもので、細田工務店の住まいは最高等級の3を取得しています。

5. アフター対応

『35年保証システム』で、手厚く住まいの健康と安心・快適を見守る

「35年保証システム」は堅牢な構造と、精度の高い施工技術&検査体制が実現を可能にした制度です。5年ごとに当社規定による定期点検（無償）を受けていただくこと。10年ごとに当社が必要と認められた有償メンテナンス工事を、当社の責任施工によって実施させていただくこと。これらを条件に、長期保証内容の保証期間を最長で25年間延長することができます。



※定期巡回・定期点検・防蟻工事・メンテナンス工事は、細田工務店の協力会社が実施いたします。
 ※保証延長に際して、5年ごとの防蟻工事(有償)及び10年目・20年目・30年目の無償点検を行い、当社でメンテナンス工事(有料)を実施させていただくことが条件となります。
 ※35年保証システムは長期保証対象範囲に限ります。

気になった時はいつでもコール24時間365日電話受付

住まいに関してお困りごとやお気付きの点が起きたら、いつでも気軽にお電話ください。「アフターメンテナンス窓口」では、24時間365日体制でご相談をお受けします。



専任スタッフがいつも住まいに寄り添うアフターメンテナンス

住宅業界の先駆けとなる1965年に、細田工務店は専任スタッフによる「定期巡回点検システム」を開始。「定期巡回」は、お引渡し日から3か月目・1年目・2年目に、住まいの維持管理のお手伝いやご相談にお応えします。5年目・10年目の「定期点検」時は、構造面など住まいの重要な箇所を無償で点検。条件を満たした保証延長・再延長期間の「定期点検」も、無償で行います。



毎日使うものだから保証を10年間住宅設備プラチナサポート

住宅設備機器は設置5年目以降、急激に故障頻度が高まります。にもかかわらず、メーカーの保証期間はほとんどが1年程度。細田工務店では、システムキッチンやシステムバス、給湯器など、ご利用の設備機器が故障した場合、メーカーの保証を延長。10年間何度でも無償修理をご提供します。

※プラチナサポートへの加入は有償となります。
 ※保証対象機器には制限があります。詳しくは係員までお問合せください。



住まいと暮らしのパートナーとなって、お住まいになってからも、ずっと一緒に。

細田工務店の住まいを選んでいただいたお客様に、快適な居住環境を維持しながらお過ごしいただきたいとの思いから、HPにて「住まいのお手入れガイド」を特集しています。お手入れポイントや基本知識などを分かりやすくガイド。お手元でご確認いただける、PDFダウンロード版もご用意しています。さらに、将来のリフォームや不動産に関するご相談などもお気軽に。お客様のパートナーとなって、末永く住まいと暮らしに寄り添います。



暮らしをやさしく包む、手仕事の温もり感じる住まいをお客様に。
 笑顔あふれる毎日のために、一人ひとりが「厚品質」のその先へ。

Voice

細田工務店スタッフの生の声、お伝えします。



用地取得
担当

入手した土地情報をもとに現地調査を行い、お客様への「安全・安心」を基本として、良質な住宅供給ができる立地であるかを見極めを行っています。現地調査不足や重要事項の見落とし、計画変更が生じないよう細心の注意を払って、分譲戸建て事業の安定的な供給につなげています。



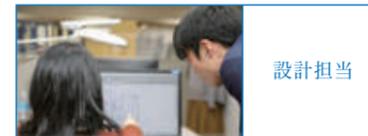
マーケティング
担当

市場調査やご入居者の方へのアンケート取得を行い、関係部署へ日々フィードバックを行っています。お住まいいただいたあともどのように暮らされているか、お客様の声に耳を傾け、常に改善していくことが使命だと捉えています。



商品企画
担当

時代によって暮らし方も家族の在り方も変化していきます。私たちはそれぞれの変化に合わせて柔軟に対応していくことが不可欠だと考えています。また、1邸1邸の住まいだけではなく、街並みをつくるということを目指し、用地取得後から設計とデザインレビューを重ね、商品化しています。



設計担当

開発地の区画ごとの敷地特徴に応じて、暮らしやすさはもちろんのこと、各々のお客様にフィットするよう、さまざまな住まい方をご提案していきます。また、周辺環境やその土地に馴染むだけでなく、開発地を含む街自体の価値を上げられるよう計画しています。



施工担当

責任施工体制が整っているため、設計やプロジェクト担当との連携がよいことが、他社にはない強みです。各工程での検査をしっかり行うのはもちろん、お客様により良いモノをご提供できるよう、日々努力をしています。



アフター
メンテナンス
担当

お住まいになってから、お客様とお付き合いが始まります。住まい人も長生きするためには、定期的なケアが不可欠です。ちょっとした身体の不調をかかりつけ医に相談するように、気軽にご相談ください。

Creation

多面的な住品質が高く評価され、「優良事業表彰」を数多く受賞。

一般社団法人全国住宅産業協会では毎年、独創性、先進性、事業性などに優れた戸建て住宅やマンションなどのプロジェクト（事業および企画・開発）を選出し、「優良事業賞」表彰を行っています。細田工務店が施工した分譲地においても、企画力の高さや環境への配慮、開発計画などが高く評価され、これまでに「グローイングスクエア調布ヶ丘」「グローイングスクエア国立コンセプトハウス」「グローイングスクエア祖師谷アミュゼ」のほか、数多くの受賞実績を誇ります。細田工務店はこれからも、「安心」「心地よさ」「信頼」を築く、上質な住まいをご提案してまいります。

※一般社団法人全国住宅産業協会とは：住宅産業の健全な発展と国民の住生活の向上、公共の福祉の増進に寄与することを目的とする住宅・不動産業界の業界団体です。



グローイングスクエア国立コンセプトハウス



グローイングスクエア祖師谷アミュゼ

Initiative

「合同安全品質パトロール」をはじめ、技術・品質向上への取り組みの数々。

年1回実施される「合同安全品質パトロール」は、創業間もない頃から行っている取り組みです。施工の工程ごとに選定した現場に様々な部門のスタッフが集結して、安全面や品質を細かく確認。意見を交換し合い、考え、実行する、グループと安全品質協力会において「改善と共有」を図っています。また、工事部門と安全品質協力会がそれぞれの担当エリアで毎年実施する「安全パトロール」と協議会、毎年開催される「安全大会」など、あらゆる機会を通じて技術と品質の向上に取り組んでいます。



本パンフレットをご覧いただくに当たり、右記の次項について予めご了承ください。

●本パンフレットは、2021年6月付けの細田工務店の施工基準(構造・工法・使用部材・性能・数値・等級・仕様など、当社の〈軸組工法・2階建て〉の一般標準となる指針)を表示したもので、その内容を保証するものではありません。●上記、施工基準は予告なく変更になる場合があります。●掲載しているイラストや図版などは、分かり易くするために実際と異なる形状・縮尺・色などで表現している場合があります。●掲載しているイラストや図版・写真などの中で表示されている文字や線などの説明表示は、印刷の過程で位置のずれが生じる場合があります。●掲載している写真は参考として当社施工事例を撮影したもので、撮影した場所・時期・時間・天候または撮影機材の違いにより形状・大きさ・色などが実際とは異なる場合があります。●物件により仕様が異なります。詳しくは現地担当者にお尋ねください。●2023年4月販売時点での物件用パンフレットとなります。